

2023年度をかえりみて

2023年度理事長 對馬 幸 征

「青年は理想に燃え、未来への期待を常に強く持ち、希望に満ちた明るい豊かな社会、正義が行われる理想の社会の実現を心から熱望している」

われわれの限られた時間をなんのためにだれにどうやって、費やしていかなければならないのか。

その光を見出すのはわれわれしかない。

2023年度一発目の新年祝賀会で思いを述べさせてもらって始まった理事長としての青年会議所ライフは本当に楽しかったです。

私が掲げた基本理念のもと、5つの委員会からなる事業を展開して参りました。

スムーズで規律ある組織運営と、コンプライアンスや著作権などを公正明大な信あるSNSを活用した情報発信を行ってきた、総務広報委員会。

会員が市民を巻き込み続けてきた市民参画や社会参画意識を向上させるためにも、「市民」「行政」「当会」三位一体による市民討議会を協働してきた、まちづくり委員会。

学問はもとより、集団生活によって磨かれる規律や、家族や友達を思いやる青少年へと成長させる機会じょっぱりロードなど開催した、青少年委員会。

昨年度50周年という節目を無事に迎え開催した、この住み暮らす地域の幸せを願うまつりの次なる半世紀へむけ、まちが、ひとが、この時にしか味わえない価値を共感する時代に適した「第51回奥津軽虫と火まつり」を開催した、まつり委員会。

本年は、7月に青森ブロック大会、名称改めアオモリサマーサミットに代わり第52回アオモリサマーサミットの主管を五所川原青年会議所が務めさせていただく事になりました。さらには来年2024年度、五所川原青年会議所は認証60周年を控えております。先輩たちがこんにちまで、運動を展開し現役に継承してきたからこそ、わたくしたちの今があります。その歴史を伝播していくためにも五所川原青年会議所のこれからのあり方を次なる世代へ総合特別室を中心に繋いでまいりました。

2023年度は期首会員数32名で走り始めましたが、この32名からだからこそできる事業を、「適正」に「適切」に展開し運動していくことによって、地域やひとの発展に必ず寄与されることと思ひ、1年間皆様のご協力のもと走り抜けることができました。

私は入会してから11年目になりますが、これまで自分や仲間との活動に費やした時間はお金に換算できないくらいの価値があります。

家族に仕事にJCに、費やす時間の価値は自分にしかわからず、価値ある時間を、どこに誰に、どうやって費やすのか自問自答し活動してきました。

本質を見定め共に歩んでいく時だからこそ「TIME Is Money ～価値ある時間を大切に～」をLOMスローガンにし、自分の価値ある時間で能動的に行動することがまちや、ひとに変革を、もたらすと、信じております。

最後になりますが、誰もが同じ時間を持っています。誰もがその貴重な、時間を、家族に、仕事に、プライベートに費やしています。と同様に、我々、会員一同も、まちのことひとのことを本気で考え、青年会議所に時間を費やししていることをわかっていただきたい。どうか、会員ひとりひとりが魅力溢れるこの地域をさらに良くしていこうと意識高揚され「明るい豊かな社会の創造」に繋がる、そんな五所川原青年会議所になることを祈願しております。

メンバーひとりひとりの「大切な価値ある時間」を、私、對馬幸征にお貸し頂き本当にありがとうございました。1年間本当にありがとうございました。

委員会活動報告

総務広報委員会

構成メンバー

副理事長：山田 貴之

副委員長：葛西 翔悟

委員：棟方 大輝、高松 一政、川浪 永、今 孝夫

基本方針

五所川原青年会議所は創立から59年の歳月が経ち、我々の先輩諸兄は地域の「明るい豊かな社会」実現に向けて常に挑戦し続けて参りました。先輩諸兄から脈々と受け継がれてきました、最善のまちづくり、ひとづくり運動の精神、その意思を次の世代へと受け渡すためにも我々が見本となる、規律ある組織運営を確立しなければなりません。また新型コロナウイルスが蔓延し、世界が混沌とした今だからこそ、組織力を強く、正確な情報を伝え、青年会議所運動を展開していかなければなりません。

その為にも、当会の運動展開を広域的かつ迅速にSNSで発信し、地域への認知、浸透を図り、広く地域からの信頼を得られる環境を培って参ります。また公益法人制度を基に執行部と密に連携を図りながら、総会並びに各種定例会を円滑に執り行う事で、確実な組織体制を構築いたします。そして先輩諸兄から受け継がれてきました五所川原青年会議所創始の精神を絶やさぬよう次の世代へと繋げる為の12月定例会を開催いたします。

総務広報委員会では、組織の根幹である総会・各種定例会を適切に企画・運営し、組織の地盤を支え、公明正大で信がある青年会議所運動の情報発信をすることで、当会の発展・地域の未来を切り開く糧となることを確信し、一年間邁進して参ります。

事業報告

○公益社団法人五所川原青年会議所2023年度新年式典

開催日：2023年1月14日(土曜日)

開催場所：プラザリュウ五所川原

参加員数：対内) 28名

事業内容：五所川原青年会議所は関係団体の理解・協力を得て、先輩諸兄が築き上げてきた「明るい豊かな社会」の実現に向けて事業を展開して参りました。そこで先輩諸兄や関係団体に対して、2023年度五所川原青年会議所の新体制を紹介する新年式典を実施いたしました。



○公益社団法人五所川原青年会議所2月通常総会

開催日：2023年2月22日(水曜日)

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：対内) 25名

事業内容：五所川原青年会議所の目的である「明るい豊かな社会」の実現のために行った2022年度事業の報告、収支決算報告、財務状況につき、定款第27条から第36条の規定に基づき、総正会員の半数以上が出席する2月通常総会において出席正会員の半数以上による決議を得る2月通常総会の実施をいたしました



○公益社団法人五所川原青年会議所7月定例会「役員選考委員会委員選挙」

開催日：2023年7月18日(火曜日)

開催場所：五所川原学習情報センター 1F大教室

参加員数：対内) 23名

事業内容：「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、このまちへの思い、信頼を繋げる為に、公益事業に重きを置き、青年会議所運動を展開して参りました。そして更なるまちづくり、ひとづくり運動を次世代へと円滑に受け渡す為にも、次年度役員を選考する役員選考委員会委員選挙の実施をいたしました。



○公益社団法人五所川原青年会議所9月通常総会

開催日：2023年9月27日(水曜日)

開催場所：ホテルサンルート五所川原

参加員数：対内) 23名

事業内容：五所川原青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、このまちへの思いを強く活動を続けて参りました。7月定例会役員選考委員会委員会選挙を終え、2024年度に向けて役員候補者、組織図案の承認を通常総会で承認を頂くことで、次年度も円滑にJC運動を行う為の9月通常総会を実施いたしました。



○公益社団法人五所川原青年会議所 12月定例会

開催日：2023年12月2日(土曜日)

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：対内) 25名

事業内容：12月定例会を執り行う事で今年度の事業を振り返り、2024年度の新体制での基本方針・基本計画を会員に知って頂き、2023年度から2024年度へと創始の精神を繋げて行く定例会を実施いたしました。



○公益社団法人五所川原青年会議所LOM内褒賞

開催日：2023年12月2日(土曜日)

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：対内) 25名

事業内容：運営規定第10条（褒賞に関する事項）に則り、2023年度青年会議所運動に於ける会員の功績を称える場を創出することで会員の精神向上を図り、次年度へと創始の精神を繋げるための事業を実施いたしました。



まちづくり委員会

構成メンバー

副理事長：高橋 溪太

委員長：佐々木 康幸

副委員長：野上 新一朗

委員：平山 厚生、津島 勝揮、中元 郁美

基本方針

2019年度の新型コロナウイルス感染拡大から三年経つ今もなお、人々の日常生活や経済活動は制限を受けています。当会でもこれまで「市民・行政・当会」が三位一体となり展開・実施してきた事業も長らく中止を余儀なくされ、市民の社会参画意識向上の機会も失われたままとなっております。まちづくりにおいて市民参画は必須事項であり、当会は「市民を中心とした市民のためのまちづくり」を行うべく、臨機応変に事業を構築・展開し、この地域の住民を巻き込んでいかなければなりません。その為には、長らく中止していた五所川原市民討議会のような「市民・行政・当会」が三位一体となる事業を改めて構築・展開し、市民の社会参画意識を高めると共に、新たなまちづくりへの一步を踏み出していきます。また、未来のまちづくりを率先して担い、まちづくり運動の模範となるであろう当会員の意識を高めるため、まちづくりのビジョンと実現に向けたミッションを共有し、小さな成功を積み重ねて参ります。まちづくりは一年にして成りません。揺らぐことのないまちづくりのビジョンを掲げ、「市民・行政・当会」が三位一体となり、ミッションを共有・達成していくことで「明るい豊かな社会」の実現に向け、前進していけるよう一年間尽力して参ります。

事業報告

○令和5年五所川原市民討議会

開催日：2023年5月28日(日)

開催場所：五所川原学習情報センター

参加員数：対内) 24名、対外) 23名

事業内容：五所川原市民1, 200人を無作為に選出し、参加承諾者のうち30名を抽選し、決められたテーマに沿って討議を行い、討議結果を五所川原市へ提言する事業。





○楽しく踊って健康に～無料ダンス体験会

開催日：2023年10月22日(日)

開催場所：五所川原中央公民館

参加員数：対内) 21名、対外) 94名

事業内容：地域住民の心身の健康促進を目的にZUMBA・HIPHOPダンス・ヨガを無料で体験できる事業。



かえりみて

副理事長 高橋 溪太

2023年度、初めての副理事長という立場に就かせていただきました。委員長時代の委員会運営、事業構築ではなく、委員会全体を把握しバランスよく関わっていく事が求められる難しい立場だと思いました。

今年度まちづくり委員会として、市民討議会やダンス無料体験会を開催し、市民討議会では市民の方々が何に対して問題意識を持っていて、解決したいと思っているのか、ダンス無料体験会では、約100名の参加をいただき、市民のコミュニティツールが求められている事がわかりました。2023年に経験した様々な事を、2024年度の活動にもつなげていければと思います。

委員長 佐々木 康 幸

JC入会に至った一番最初のきっかけは初回開催である2012年の市民討議会に市民として参加したことでした。あれから11年、初理事、初委員長がまちづくり委員会の、そして市民討議会の担当になることは非常に光栄であり、また、運命めいたものを感じました。

ダンス体験会では自らが地域に対して課題と感じていることに対する事業でもあったため、今後この地域の健康寿命が延びていくことを目指してコミュニティ活動を続けていきたいと思っております。

委員長としては、個人でのパワープレイをしてしまう傾向にあり、委員会運営・メンバーマネジメントとしてはとても褒められるものではないと自省しています。

来年は絶対に個人プレーができない委員会のもっとも重い役職についてしまったため、今年の実績をしっかりと活かし、年初より情報・意思共有を関係各所に行いながらしっかりと段取りをしていきたいと思っております。

青少年委員会

構成メンバー

副理事長：葛西 良樹

委員長：小野 顕成

副委員長：高橋 千恵子

委員：木村 健太郎、青山 翼沙、成田 健斗、貴田 祐吾、伝法谷 洋匡

基本方針

次なる未来を切り開くのは地域に住む子ども達です。その子ども達はコロナウイルス感染症の流行により新生活様式に順応する一方で、外での運動や地域の体験学習の減少により目に見えないストレスが増加しており、地域の未来を切り開く大人になる為に必要な自己成長への意欲が失われています。自ら声をかけ仲間を作り苦楽を共にし、困難にも屈せず乗り越えることで培われる規律と友情は生涯の財産となります。今こそ、子ども達が自発的に挑戦し仲間との友情を育む機会が必要です。

そこで、地域に住む子ども達がスポーツを通じて身体を動かし挑戦する機会を創出することで、ルールの中で自ら考え実行する力と仲間と行動するうえでの協調性を育みます。また、仲間と生活を共にしながら一つの目標に向かって互いに支え合い、困難にも臆せず乗り越えることで培われる思いやりの精神と、生涯の財産となる友情を育むことのできる「じょっぱりロード」を開催することで、心身ともにたくましく仲間や地域への思いやりに溢れる人間へと成長します。

スポーツを通じて規律と精神力を育み、徒歩修行を通じて自らの成長と仲間への思いやりが培われる経験は唯一無二であり生涯の財産となります。子ども達はその経験を糧として大人へと成長していくことで、必ずや地域の「明るい豊かな社会の実現」に向けた一助となります。

事業報告

○4月定例会「わんぱくスポーツトレジャー」

開催日：2023年4月16日(日) 13:20~16:00

開催場所：つがる市柏総合体育センター

参加員数：対内) 17名、対外) 33名

事業内容：西北五地域の子ども達を対象にしたスポーツを通じた規律と精神力を育む事業

○8月定例会「じょっぱりロード2023~OMOIYARIの旅~」

開催日：参加者説明会

2023年7月17日(水) 13:00~15:00

じょっぱりロード本番

2023年7月28日(金) 6:00~17:00

2023年7月29日(土) 6:30~16:30

2023年7月28日(日) 8:00~18:00

開催場所：十三の砂山公園~中泊町森林公園ふれあいセンター

～青森県立梵珠少年自然の家～五所川原中央公民館

参加員数：対内) 29名 対外) 参加者30名 ボランティア13名

事業内容：徒歩修練を通じて仲間と生活を共にしながら、感謝と思いやりを育む事業

○「じょっぱりロードボランティア研修会」

開催日：第1回 2023年6月25日(日) 15:00～17:00

第2回 2023年7月 9日(日) 12:30～17:00

第3回 2023年7月17日(月) 10:00～12:00

開催場所：第1回 五所川原市民学習情報センター

第2回 今泉パーキングエリア～尾別神明宮

第3回 五所川原市中央公民館

参加員数：対内) 12名 対外) ボランティア13名

事業内容：研修を通じてコミュニケーション能力やチームを牽引する主体性を育む事業



かえりみて

副理事長 葛西良樹

今年は、青少年委員会の担当副理を務めさせて頂きました。会議所活動に参加するようになったきっかけになった2013年青少年委員会。初委員長になったのも青少年委員会。そして卒業年度の担いも青少年委員会副理事長。青少年委員会に成長する機会をいただいたJCライフでした。大人が本気で涙す

る事業を出来るのは青少年のじょっぱりロードだと思っています。色々なメンバーのお世話になった1年でした。まだまだ継続していかなければいけない事業の一つです。是非来年以降の活躍にも期待しております!!

1年間ありがとうございました。また、また最後に青少年の副理事長をさせていただきありがとうございました。感謝。

委員長 小野 顕 成

青少年委員会の委員長を担当してみて、想像以上に大変だということが分かりました。わたしが入会した当初に青少年委員会へ配属されたということもあり、青少年の事業に対する思い入れがありました。ただ、当初と違い今現在の子供たちを取り巻く環境はがらりと変化しており、事業の在り方を今一度考える必要がありました。

4月定例会は子供たちの規律と精神力を育む事業ということで西北五地域の小学生を対象にスポーツを通じた事業を実施しました。当初は屋外での開催を計画しておりましたが悪天候が予想されたため室内での実施となりました。昨年度までコロナウイルスの流行により学校外の体験学習が制限されていたこともあり、子ども達が体を動かして思いっきり楽しめる内容にしました。最初はチームになじめない子もいましたが、時間がたつにつれて笑顔が増えて、みんなで楽しくスポーツに挑戦することができました。

また、8月定例会は子供たちの思いやりの心と友情を育む事業ということで第12回目を迎える「じょっぱりロード2023～OMOIYARIの旅～」を開催しました。西北五地域の子供たち30名と高校生ボランティア13名で2泊3日の徒歩修行の旅を行いました。まずは、ボランティアの応募が必要でしたが、集まったボランティアはやる気があり子供が好きな子がほとんどで、子供の安全を守るためのボランティア研修会に積極的に参加してくれました。そして、事業当日は熱中症に気を付けながら長い旅路を歩きました。1日目は元気だった子も2日目以降は苦しい思いをしながらも助け合いながらゴールに向かい歩きました。本年度は宿泊を行ったので子供たちにとって忘れられない思い出となりました。ゴールでは親が待機して子供が成長した姿を見て涙を流していました。

青少年委員会が事業を実施できたのは委員の支えと会員の皆さまのおかげであり、無事に終えたことに感謝しかありません。そして何より、わたしを指導していただいた副理事長にはたくさん心配をかけました。反省点もたくさんありましたが、この経験が引き継がれるように仲間と協力しながら活動して参ります。一年間誠にありがとうございました。

まつり委員会

構成メンバー

副理事長：工藤 智哉

委員長：島谷 昌孝

副委員長：花田 憲一郎

委員：平山 智久、川村 優弥、竹内 大介

基本方針

昨年夏の豪雨災害により、この街に住み暮らす人々が少なからず恐怖を感じた事は記憶に新しい出来事であります。この町を支える第一次産業の農産物にも大きな危害を及ぼす事態となりました。新型コロナウイルスや未曾有の災害が起こりうる、時代だからこそ地域の幸せを願う祭りとして「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穡」「悪疫退散」の祈りを込めた「奥津軽虫と火まつり」の意義を伝承し、関係諸団体や地域企業との連携を密にし、継続的な運動を展開していかなければなりません。

地域の未来の担い手と共に、この「時」にしか味わえない価値を共感し、親善大使活動を通して祭りの意義を伝承し、子供たちがまつりにふれあう機会を創出いたします。また、「奥津軽虫と火まつり」の次なる半世紀へ向けた第一歩を踏み出す為、五所川原青年会議所会員一人ひとりのまつりに対する意識の高揚を図り、会員同士の連携はもちろんの事、地域を巻き込み、新たな仲間の輪を広げ時代に適したまつり開催を目指します。

先輩諸兄から脈々と守り伝え愛されてきた「奥津軽虫と火まつり」の未来を想像し、伝統の燈火を時代に即した形へ発展させ、次世代へ絶やすことなく伝承する事により、この地域の「弥栄」と「明るい豊かな社会」の創造となるものと確信し、一年間職務を果たせるよう邁進して参ります。

事業報告

○3月定例会「奥津軽虫と火まつり」50年を顧みる～持続可能な町おこし～

開催日：2023年3月20日(月)

開催場所：五所川原市民学習情報センター大教室

参加員数：正会員25名

事業内容：「奥津軽虫と火まつり」の起源を振り返り、これまでの歴史や将来の課題を共有することで祭りに対する関心を高め、4年ぶりの運行や親善大使活動など、今年の内容を説明しました。これにより、コロナ禍に参加した新しいメンバーにも祭りのイメージを共有し、祭り本番までのサポート体制を強化しました。さらに、グループディスカッションを通じて、祭りの効果的なPRに関する多くの意見を集めることができました。

○奥津軽虫と火まつり親善大使事業

開催日：2023年4月21日(金)～6月17日(土)

開催場所：五所川原市内各所

参加員数：会員40名（正会員34名、仮入会員3名、特別会員3名）

【親善大使校】

- ・五所川原高等学校：37名
- ・五所川原第一高等学校：3名
- ・青森職業能力開発短期大学校：38名計78名

【参加小学校】

市内全11校対象小学生：396名

事業内容：この街に住み暮らす次代をになう若い世代に「奥津軽虫と火まつり」の意義を伝承し、子供たちがまつりにふれあう機会を創出いたしました。

◆親善大使説明会

- ・親善大使説明会（高校）

4月21日(金) 17:30～五所川原情報学習センター

五所川原高等学校：15名

五所川原第一高等学校：2名計17名

- ・親善大使説明会（青森職業能力開発短期大学校）

5月11日(木) 13:00～能開大校内

青森職業能力開発短期大学校：37名

◆出前授業（紙芝居の朗読と小松明制作体験）

期間：5月22日(月)～6月2日(金) 計12回

- ・5月22日 五所川原小学校：3年生38名五高：5名
- ・5月22日 栄小学校：3年生57名五高：5名
- ・5月23日 三好小学校：2、3年生8名五高：6名、一高3名
- ・5月23日 金木小学校：3年生34名五高：6名、一高3名
- ・5月24日 中央小学校：3年生81名五高：9名
- ・5月25日 五所川原小学校：4年生56名
- ・5月30日 南小学校：4年生31名五高：5名
- ・5月30日 東峰小学校：3年生10名五高：5名
- ・5月31日 市浦小学校：4年生12名五高：6名、一高3名
- ・6月 1日 三輪小学校：3年生37名五高：6名
- ・6月 2日 松島小学校：4年生18名五高：8名
- ・6月 2日 いづみ小学校：6年生14名五高：8名

◆松明製作体験

期間：5月8日(月)～6月9日(金)

日時：平日18時～

場所：製作小屋（有）青銅産業倉庫内

対象：参加可能な親善大使

◆ラジオ出演 PR

- ・ 5月29日 五所川原第一高等学校：3名
- ・ 5月31日 五所川原高等学校：5名
- ・ 6月 2日 五所川原高等学校：3名
- ・ 6月 5日 五所川原高等学校：3名
- ・ 6月 7日 青森職業能力開発短期大学校：3名
- ・ 6月 9日 五所川原高等学校：5名

◆ELMの街にてPR活動

- 6月3日(土) 11:00～15:00 ELMの街・五所川原高等学校：10名
- 6月4日(日) 11:00～15:00 ELMの街・五所川原高等学校：10名
- ・ 五所川原第一高等学校：3名

◆参加者説明会（参加小学校保護者向け）

日 時：6月6日(火) 19:00～20:00

場 所：情報学習センター

参加者：中央小学校保護者4名、金木小学校保護者4名、三好小学校保護者3名、南小学校保護者1名、三輪小学校保護者2名、松島小学校保護者4名、五所川原小学校保護者2名計20名

◆市長表敬訪問

日 時：6月9日(金) 11:00～

場 所：五所川原市役所

参加者：五所川原高等学校3名、五所川原第一高等学校3名、能開大2名計8名

◆まつり当日

【親善大使】計77名

五所川原高等学校：36名

五所川原第一高等学校：3名

青森職業能力開発短期大学校：38名

【小学校】小学生計290名、保護者計418名

五所川原小学校：3年生21名、保護者31名

：4年生46名、保護者87名

：6年生38名、保護者52名

栄 小 学 校：3年生8名、保護者14名

三 好 小 学 校：2、3年生4名、保護者6名

金 木 小 学 校：3年生32名、保護者71名

中 央 小 学 校：3年生77名、保護者115名

南 小 学 校：4年生27名、保護者37名

東峰小学校：3年生6名、保護者6名
市浦小学校：4年生3名、保護者10名
三輪小学校：3年生11名、保護者17名
松島小学校：4年生14名、保護者16名
いずみ小学校：6年生3名、保護者3名

かえりみて

副理事長 工藤 智 哉

今年は、まつり委員会担当副理事長、まつり実行委員長の2足の草鞋を履かせていただきました。まつりは昨年第50回を迎え3年ぶりに河原での開催を行いました。そして今年、第51回では従来の開催を求められスタートしました。従来の開催に戻す為には諸問題を解決する必要がありましたが、私の年末年始の体調不良から始まり、1か月間の入院を経て3月からの動き出しとなりました。その間、執行部には大変な判断をさせてしまい、島谷委員長には副理事長不在での活動をさせてしまい多大なるご迷惑をお掛けしました。復帰までの期間石田専務には実行委員長代理を担っていただきました。退院後は全てのメンバー皆様のお力をお借りしながら、まつり開催まで全力で走らせて頂きました。しかし、準備不足や打合せ不足、確認不足など当初考えていた公道運行の再開は実現させることが出来ませんでした。今年のカタチとして河川敷内での参加者団体による運行を行うことは出来ました。そして、島谷委員長の3月定例会ではメンバーが、そして親善大使活動では親善大使が島谷委員長の目的意識を汲み取って活動していただき、「第51回奥津軽虫と火まつり」大成功に繋がったと思います。

まつりに携わって頂いた皆様、観覧にお越しいただいた周辺市町の皆様、そして、石田専務と山田相談役をはじめとするメンバーの皆様本当にありがとうございました。

委員長 島谷 昌 孝

五所川原市で生まれ育った私にとって「虫送りまつり」は深い思い出がありました。幼少の頃、虫送りマラソンや河川敷での虫送りフェスティバルに参加した経験が懐かしく、同時に当時の疑問が蘇りました。なぜ、橋の両端や街灯、マンホールなど至る所に「ムッシーくん」が佇んでいるのか。今回の経験を通じて、半世紀以上も受け継がれてきた先人たちの祈りや祭りの意味を学ぶことができ、このまつりを次世代へ継承する重要性を認識しました。まさに「津軽の奇祭」と呼べるこのまつりを地域の子どもたちに伝えることで、まつりの真の意味を理解し、未来に誇りを持って歩んでいくことが地元への愛着心となり、この地域の「弥栄」と「明るい豊かな社会」の創造となるものと思います。

今年はコロナ後で数年ぶりの開催となりましたが、人員の入れ替わりや、数年のブランクで制作も思うように進まず、委員長・制作部会長としても至らない点ばかりでした。しかし、委員会メンバーを初め、会員の皆様、シニアの先輩方、親善大使や各校の先生方、そして、このまつりに携わる地域の皆様に支えられ、怪我なく無事に昇天を迎えることができました。これも一重に皆様のお力添えのお陰様です。この一年、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。





総合特別室

構成メンバー

副理事長：島村 豊次

担当理事：松谷 朋典

委員：川浪 剛功、太田 竜昂、木村 重太

基本方針

私達が住み暮らすこの地域の「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、五所川原青年会議所が設立。2012年度には公益法人格を取得し、10年が経ちました。諸先輩方から脈々と受け継がれてきた、このまちへの思い、信頼を繋げる為に、公益事業に重きを置き、青年会議所運動を展開して参りました。そしてこれからも更なる期待と信頼を頂く為に、この地域へ好影響を与え、総務として組織をサポートし、広報として、速やかな情報発信を行いながら、青年会議所運動を展開していかなければなりません。

その為にも、公益法人制度を基に執行部、各委員会と連帯を図りながら、総会、定例会の設営、新年祝賀会、役員選考委員会委員選挙を総務広報委員会が各委員会の支えとなり、円滑で淀みない定例会を執り行います。また、加速するソーシャルネットワーキングサービスの運営基盤を作り、各委員会と共に事業前の周知、事業進行中、事業後の報告を行うことで、「迅速な情報公開」をより推し進めていく環境を培って参ります。

公益法人としての責任を保持し、当会が執り行う積極的な運動展開を支え、運営することで、当会の運動はより強く地域へ伝播します。そして強く伝播される当会の運動は諸先輩方から受け継がれてきた「明るい豊かな社会」の実現へ繋がると確信し、1年間邁進して参ります。

事業報告

○親子 de 立佞武多

開催日：2023年8月4日、6日、8日

開催場所：五所川原立佞武多運行コース

参加員数：対内) 26名、対外) 877名

事業内容：祭り継承者の育成と位置付け、市内の小学生、園児とその親を対象とし、「五所川原立佞武多」に参加してもらうことで、祭りへ対する興味や関心を深めることを目的とした事業を実施しました。



○親子 de 囃子

開催日：2023年8月4日、6日、8日

開催場所：五所川原立佞武多運行コース

参加員数：対内) 26名、対外) 42名

事業内容：祭りになくってはならない囃子、この祭りの音色を自ら奏でることにより、さらに祭りへの興味と継続的な参加を見込み、市内の小学生4～6年生とその親を対象として募集し、囃子団体の礎会の協力のもと、合同練習を経て親子de立佞武多とともに運行致しました。



○幸樹園夏祭り

開催日：2023年9月17日(日) 12:00～14:00

開催場所：児童養護施設 幸樹園敷地内

参加員数：対内) 14名、対外) 70名

事業内容：幸樹園敷地内にて、幸樹園の園生、園児、職員の皆さんと一緒に夏祭りを開催し、今後の各種事業や五所川原青年会議所に対してのご理解を深める為に開催致しました。



○11月定例会「60周年へ向けて」

開催日：2023年11月24日(金) 19:00～21:00

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対内) 17名、対外) なし

事業内容：来年、五所川原青年会議所は60周年の節目を迎えます。各LOMの直近の周年事業を学び、自分達がどのような事業を展開して事で地域の発展に繋げていけるかを考える定例会を開催しました。



かえりみて

副理事長 島村 豊次

五所川原青年会議所へ入会し、12年間様々な経験をさせていただきました。入会当初は先輩方が沢山いて、各種事業でも背中だけを見て活動してきました。しかし、今年は卒業の年度となり、これまでの先輩方のようにどんな背中を見せていこうか考えて行動してきました。大きな所で松谷担当理事を筆頭に総合特別室で企画した「親子で囃子」。準備段階から事業当日まで大変な事ばかりでしたが、本事業は参加者、会員を上手く巻き込んでの事業だったと思います。最終年度一番大変でしたが、一番楽しい良い経験の年となりました。これまで、様々な場面でお世話になった会員の皆様、最後に大変な経験をさせていただいた理事長、本当にありがとうございました。

担当理事 松谷 朋典

一年前のYEG主幹、2022年度親子de立佞武多の手伝い中、これから運行開始というときに、島村副理事長予定者から声を掛けられました。それ以前から理事長予定者からは他の役職の打診はありましたが、お断りしており、委員として各委員会の下支えをしようと思っていました。しかし、まさかのラストイヤーの同級生からの誘いに断る術がありませんでした。

そのようにして始まった今年度ですが、自分なりの考えや想いを各事業にのせて展開できたと思っております。最後の年となりましたが悔いなく卒業できるのも担当室メンバー、また、多くの会員に支えられてのことです。

この1年、これまで、ありがとうございました。